

【次期学習指導要領について】

問 文科省を中心に、2020年度から国内小学校で新プログラミング教育の必修化に取り組み学習指導要領が発表されたことに伴う、今後の当町の取り組みについて

答 プログラミング教育について、総則に「児童がプログラミングを体験しながら、コンピュータに意図した処理を行わせるために必要な論理的思考を身に付ける学習活動を、各教科の特質に応じて実施する」と明記された。しかし、各教科の特質に応じて行うこととされているため、別途プログラミング学習の時間を設けるとか、特定の教科で扱わなければならないという位置付けではない。

◆中山 定則 議員

【クラブハウス(合宿施設)の整備計画と、鬼北総合公園体育館アリーナの空調整備設置について】

問 クラブハウス(合宿施設)の整備計画について

答 当町では、多様な地域間あるいは都市との交流活動を推進するために、平成24年度から鬼北町学生合宿誘致補助金交付要綱を制定し、大学や高校等の団体の合宿受け入れを促進している。この活動をさらに推進するために、

鬼北総合公園やB&G海洋センター等を、あらゆるスポーツ団体および文化団体等の研修や合宿場所として活用するために、クラブハウス(合宿施設)の整備について、今後、前向きに検討していきたいと考えているところである。

場所については、クラブハウスの整備ができれば、体育館、グラウンド、プール等の施設と一体して円滑に活用できる、鬼北総合公園一帯が最適であると考えているが、施設の規模、財源管理運営方法等については、今後検討したいと考えている。

問 鬼北総合公園体育館アリーナの空調整備設置について

答 アリーナに空調設備を設置するには、配電設備や壁面の改修等が必要となり、多額の費用が必要になることが予想される。

町としては、ガラスが割れているとか、床が剥がれているといったことが原因で、怪我をしたり事故が起きたりしないようにすることに、その都度対応していかなければならないと考えているが、アリーナの空調設備の設置といった大規模な施設整備については、他の施設の状態をみながら計画的に行う必要があると考えている。

鬼北総合公園の体育館については、国体の開催に合わせて、大規模な改修を行ったところであり、現段階では、空調設備をすぐに設置する計画はないが、今後、施工方法、事業費等について調査を行い、検討を進めていきたい

と考えている。

◆末廣 啓 議員

【アルコール工場跡地の再利用について】  
問 現在、手付かずの状態となっている土地の年間維持費はどれくらいか。

答 当該土地23,937平方メートル、平成26年8月12日に、鬼北土地開発公社から鬼北町土地開発基金で購入し、「基金土地」として管理している。年間の維持管理費用は、年2回から3回の草刈りに係る費用として、平成27年度が149,040円(2回)、平成28年度が203,580円(3回)、平成29年度が11月27日現在で、164,700円(2回)であり、3年間合計で517,320円を支出している。

なお、基金の土地を電灯、電力供給のための電柱等の用地として四国電力に貸し付けており、年間使用量25,500円が財産収入となつている。

問 今後の土地利用の方向性について

答 現在、一部「ニュータウン鬼北の里」として第3期造成まで実施しているが、残りの将来用地の開発については、現段階では具体的な活用方針は決定していない状況である。

用地取得後、住民の皆さんからの意見をを受けて策定された「近永アルコール工場跡地活用検討委員会」から答申のあった基本計画においては、アルコール工場跡地を住宅用地、商工業用地および公共用地の3つのゾーンに分け、住宅用地については定住促進団地、商

工業用地については企業誘致のための用地、公共用地については文化施設などの用地に活用する内容となつていた。

このうち、商工業用地については、これまで愛媛県とも連携しながら企業誘致活動に鋭意取り組んできたが、現時点では具体的な話ができる状況には至っていない。

一方、公共用地については、多目的施設の建設用地、また、合併協議の際に新庁舎建設用地の候補地の一つとして考えられていた経緯等もあるが、庁舎については、現庁舎の改修工事が無事終了したことから、新庁舎の建設は不要となつた。

現在、商工業用地、公共用地ともに具体的な活用方法は決まっていない状況である。アルコール工場跡地の活用は、鬼北町の最重要課題と位置付けており、町の将来の浮沈がかかっているといつても過言ではない。このため、町民の皆さんが夢と希望が持てるような利用計画を立てることで、地域の活性化につなげていきたいと考えている。

【国体後のスポーツの大会誘致について】

問 継続して行うスポーツの大会を誘致する考えはないか。

答 国体の開催で育まれたまちづくりに対する町民の皆さんの熱い思いと地域のもとまりを一過性で終わらせないためにも、また、当町のスポーツの振興と地域再生のためにも、関係団体等に働きかけ、各種大会の開催を誘致していきたい。